

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	生野区
学校名	翼東小学校
学校長名	塩田 武史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

（1）教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

（2）質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・翼東小学校では、第6学年 74名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科・算数科とともに全国平均・大阪市平均点を下回る結果となった。国語科・算数科で正答率が低かった一番の要因は、全体の概要からわかるように、国語科・算数科とともに平均無回答率が全国・大阪市平均より高かったからだと判断される。問題を見てもとりかかるのを諦めてしまう児童が多いと感じる。特に算数科ではどの学習指導要領の領域も低く、平均正答率を下げる要因となった。国語科の学習指導要領では、全国・大阪市平均とあまり変わらない正答率の内容があったが、B書くこと・C読むことの領域が低かった。

児童質問紙においては、読書が好きな児童はいてるが、読書をしない児童が多いことがわかり、読書が好きな児童と読書をしない児童の二極化が結果から明らかになった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 学習指導要領の内容について、情報の扱い方に関する事項では、大阪市の平均正答率よりよくなっている。しかし、「読み・書き・話す」に関しては、前年度より正答率が下がっているので依然として全国・大阪市平均との差は大きい。

2年前より国語科を研究教科とし授業改善に取り組んでいる。話すこと・聞くことの内容では、授業での音読や物語文の登場人物の心情など考え、読み取ることで成果が少しづつ表れています。

〔算数〕 前回に比べ、全国・大阪市平均との差が大きくなかった。「図形」領域では、平均正答率が全国・大阪市よりも17%程度「数と計算」領域では16%「データの活用」領域では依然として全国との差が10%以上ある。

以上のことから算数科についてはある領域に絞って学力を上げるということではなく、基礎・基本の定着を図り、計算力や数学的思考力を高めることが課題であると考える。

質問紙調査より

「読書は好きですか」の質問に「当てはまる」と回答した児童の割合は全国・大阪市平均とほぼ差はないが、「当てはまらない」と回答した児童の割合の差は10%を超えており、読書嫌いな児童が多いことが浮き彫りとなった。このことを踏まえ、児童が読書に興味や関心をもち、読書好きな児童を増やす取り組みが必要であると考える。

「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対して肯定的な回答をした児童は過半数を超えていない。

今後の取組(アクションプラン)

一昨年度より、国語科を研究教科として、校内研修会や授業研究会を行ってきた。特に本年度は説明文における「書くこと」に焦点をあて、子どもたちの書く力が向上するように、授業改善に取り組んでいる。今後も引き続き国語の授業力の向上を図っていくとともに、他の教科についても、体験活動を増やしたり、教材教具を工夫したりするなどして、学習したことがより定着するようにしていく。

以前より図書館開放の日数を増やしたり、学級文庫の冊数を増やしたりして、子どもたちが読書に親しめるように努めた。他にも学級図書の充実、図書室にある本の種類やジャンルの多様化などを進めてきた、さらに高学年の各クラスに子ども新聞コーナーを設置し、日頃より文章を見るに慣れ親しむ児童を増やすことができるようPTAとも連携した。このようにいろいろな角度から児童の読書活動を支援し、読む力の向上につながる取り組みを今後も進めていく。

算数科においては結果の分析から見えてきた児童の実態を踏まえ、まずは基礎学力の定着を図る。そのために前学年の学習内容を復習する時間を増やしたり、計算力を高める機会を増やしたりする。さらに児童がよりよい環境で家庭学習が進められるよう、保護者との連携を深める。

授業形態について、習熟度別少人数指導や、チームティーチング、教科担任制を取り入れ、個に応じた指導を進めていく。学力に課題のある児童を対象に放課後、自分に合った学習ができる場を確保し、より個に応じた支援ができるよう、学びコラボレーターや学びサポート、学年付きの教員の活用を図る。

【 全体の概要 】

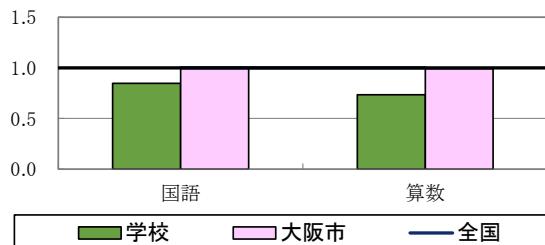
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	57	46
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

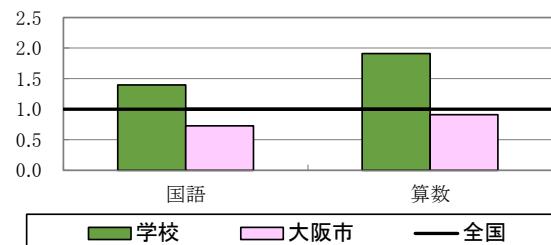
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	6.7	6.5
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



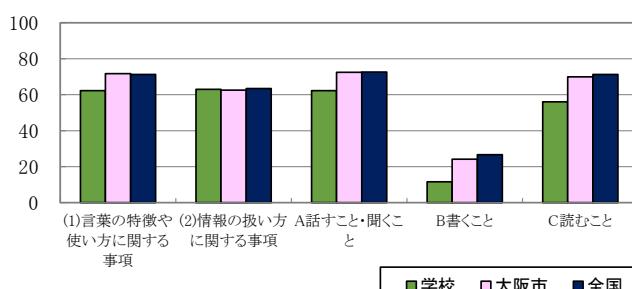
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	62.3	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に関する事項	2	63.0	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	62.3	72.4	72.6
B 書くこと	1	11.6	24.2	26.7
C 読むこと	3	56.0	69.9	71.2

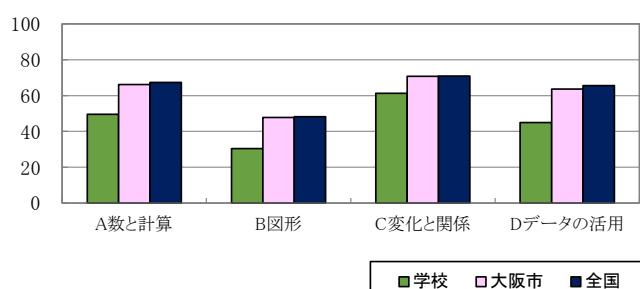
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	49.5	66.1	67.3
B 図形	4	30.4	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	61.2	70.8	70.9
D データの活用	3	44.9	63.6	65.5

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



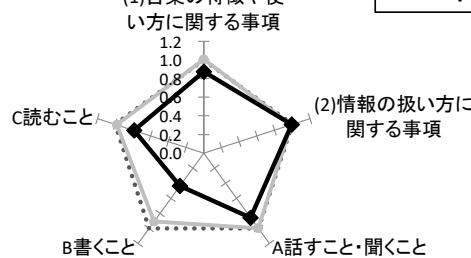
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

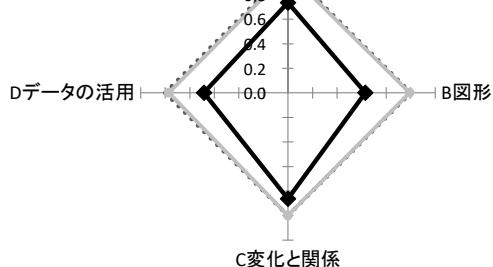
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項

..... 全国
— 大阪市
— 学校



算数 領域別正答率(対全国比)

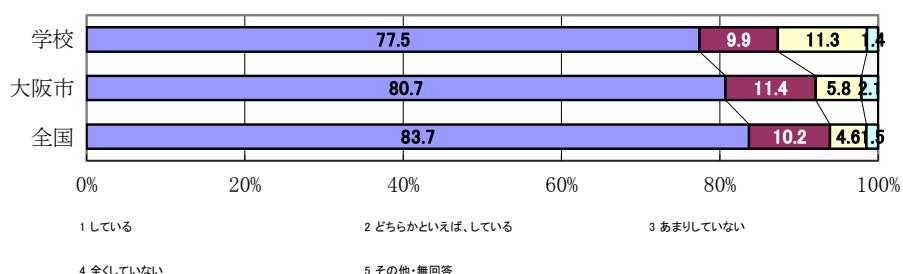
..... 全国
— 大阪市
— 学校



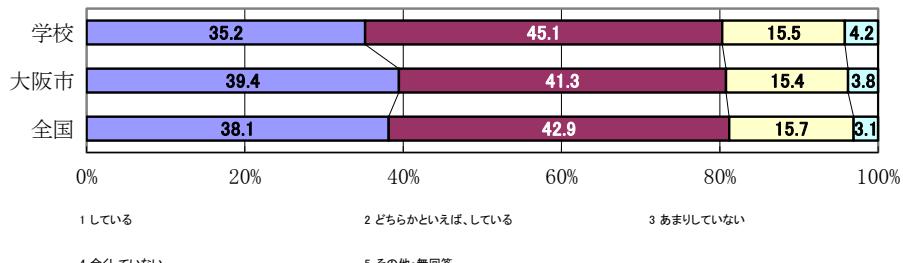
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

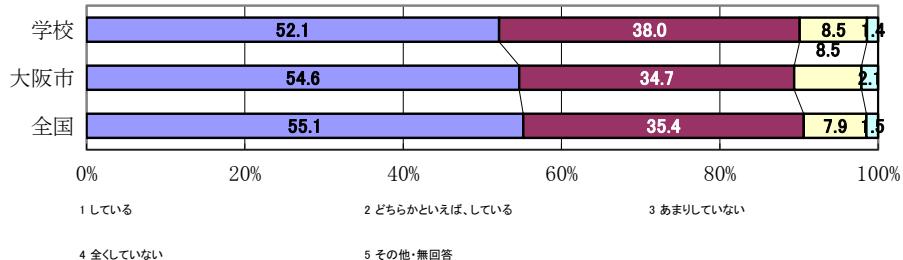
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べている



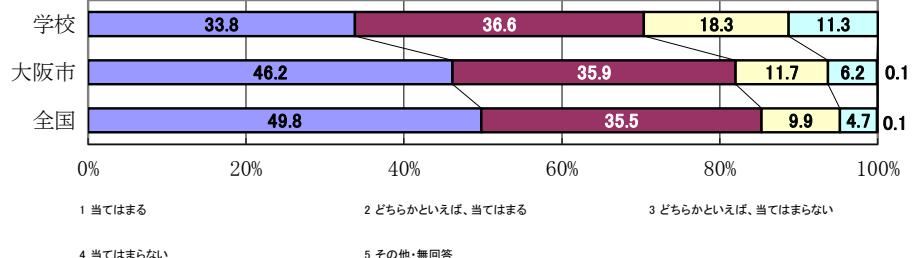
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている



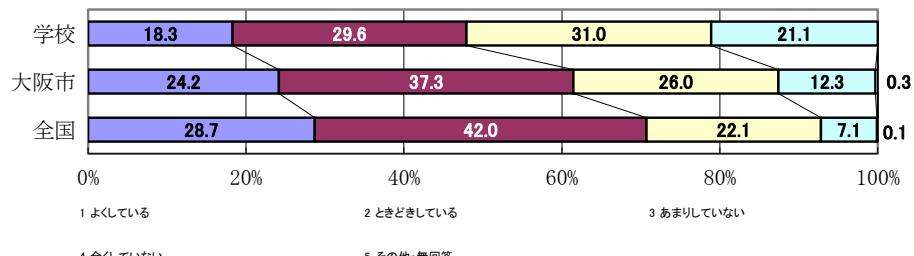
3
毎日、同じくらいの時刻に起きている



12
学校に行くのは楽しいと思う



16
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)



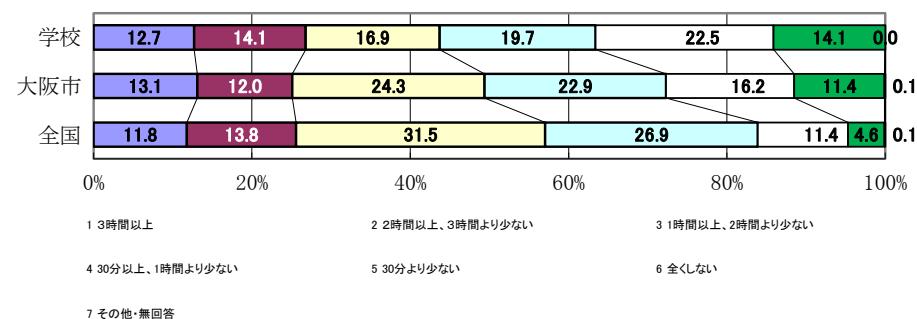
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

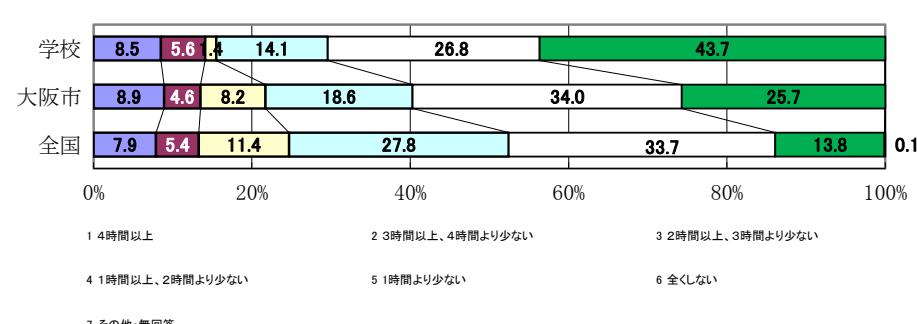
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



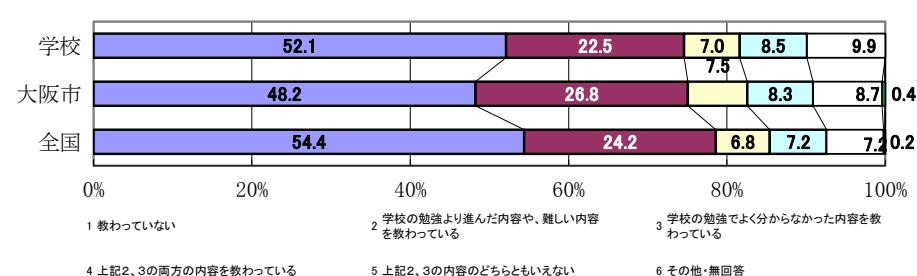
18

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



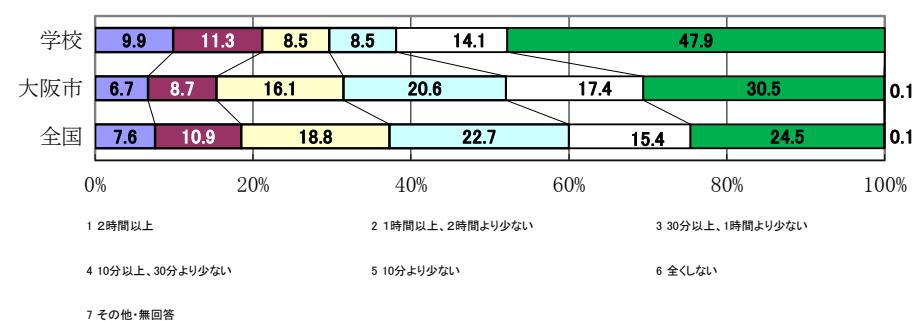
19

学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含みます)



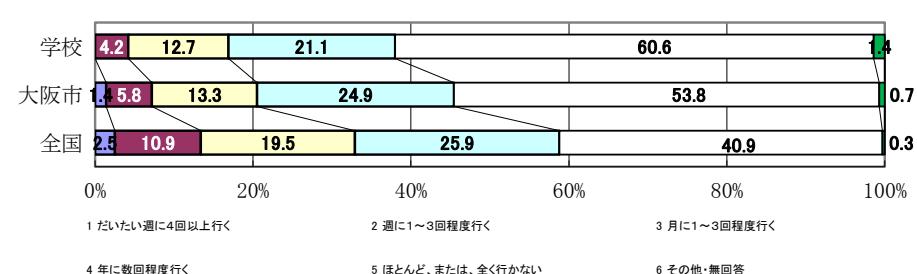
20

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)



21

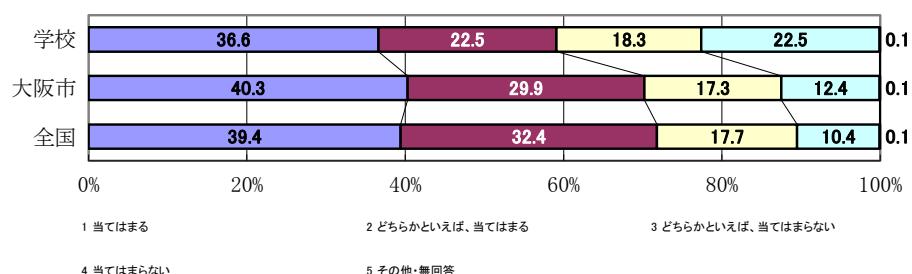
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか



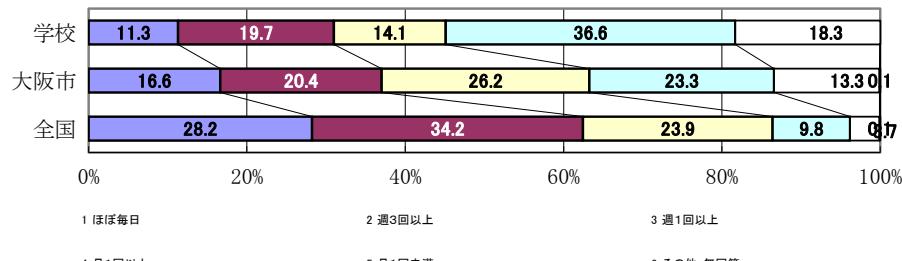
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

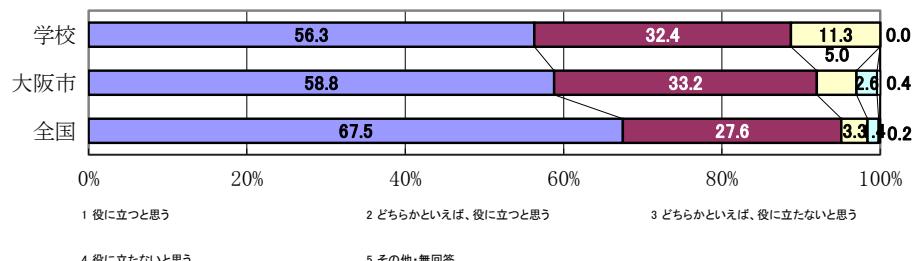
質問番号
質問事項
24
読書は好きですか



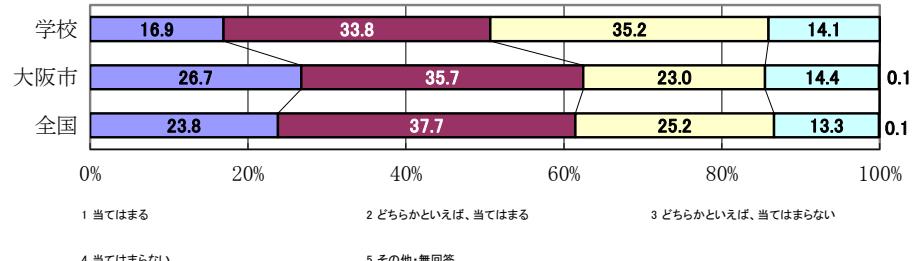
29
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



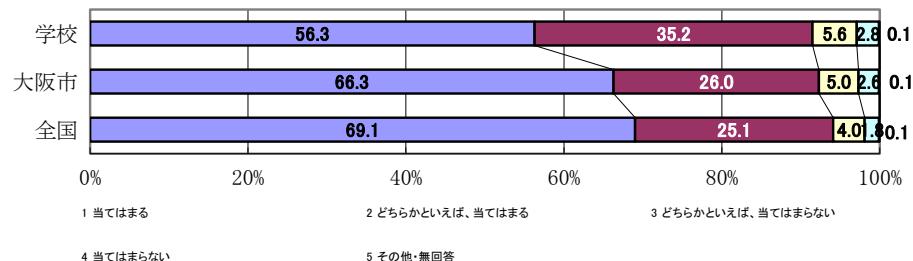
30
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



43
国語の勉強は好きだ



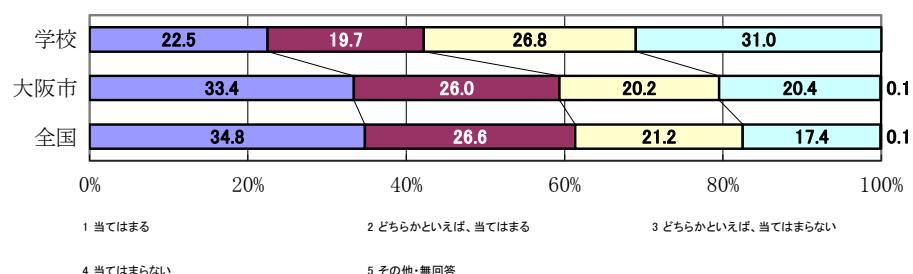
44
国語の勉強は大切だ



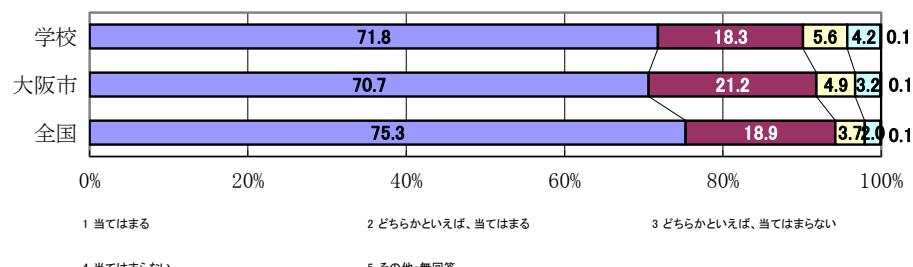
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

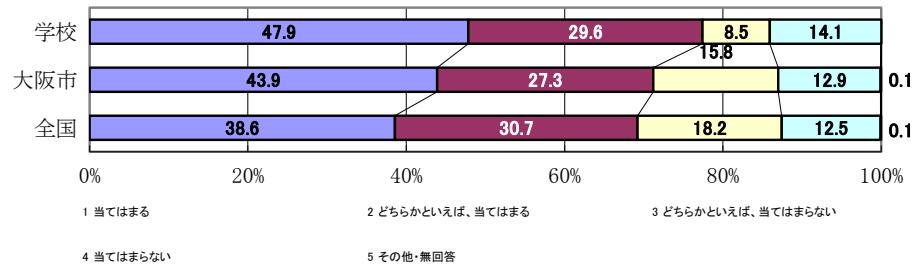
質問番号
質問事項
51
算数の勉強は好きだ



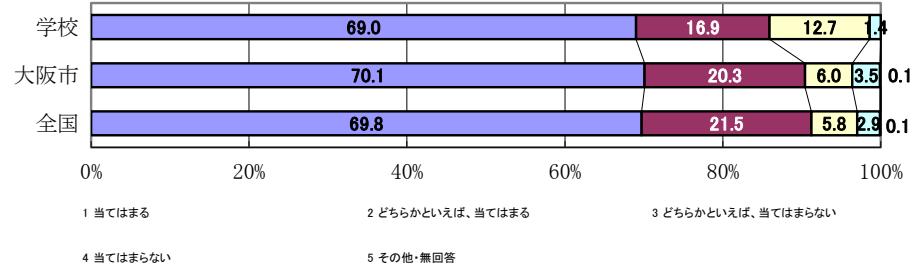
52
算数の勉強は大切だ



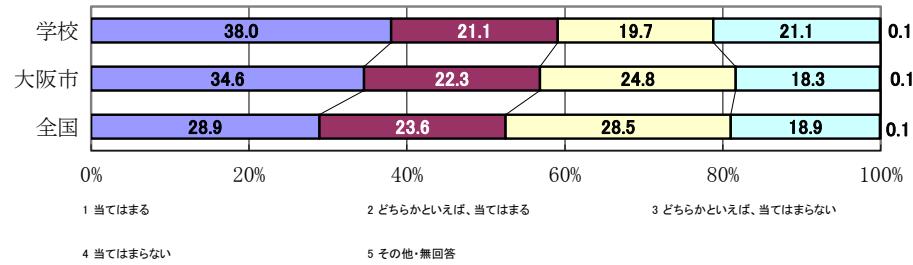
55
英語の勉強は好きだ



56
英語の勉強は大切だ



57
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う



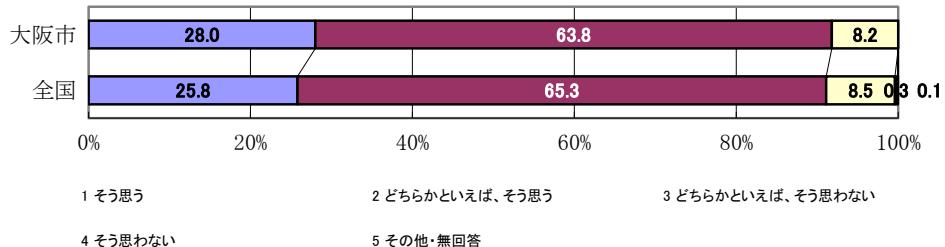
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
8

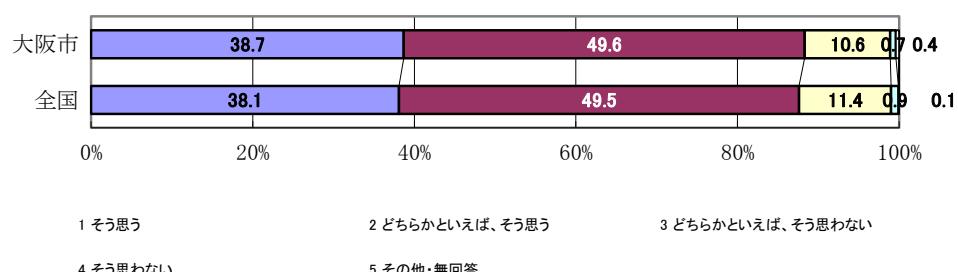
調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強している

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



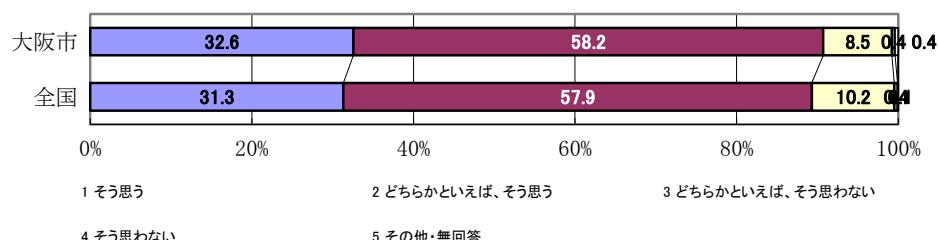
9
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



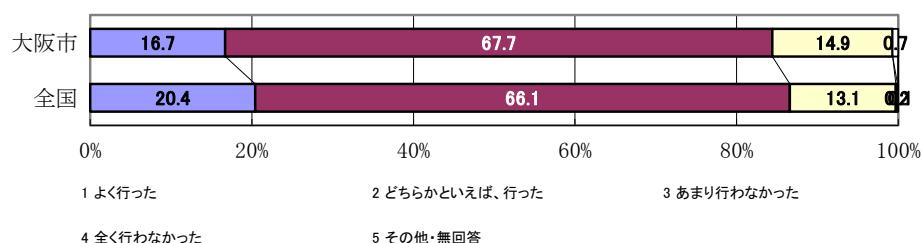
10
調査対象学年の児童は、礼儀正しい

学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



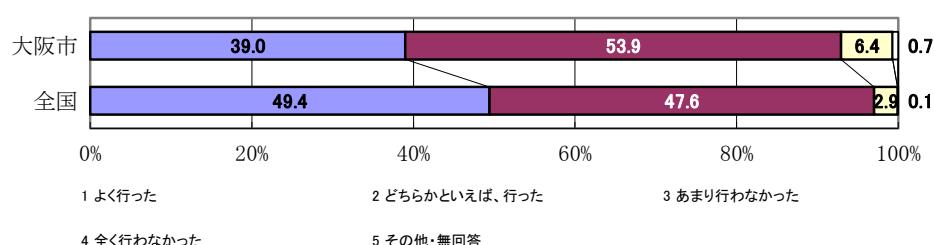
11
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



12
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



(5-1)